

銅メダル獲得の横断幕を掲揚!

埼玉地区 富士電機設備技術センター 正門

第55回 技能五輪全国大会【抜き型】職種

祝



第3位『銅メダル』受賞

伊藤 彰宏

富士電機エフテック(株)



河野社長と選手3名

埼玉県上田知事を表敬訪問

上田知事から選手達へ祝福のお言葉

上田知事らと埼玉県代表のメダル受賞者



中央列右から4番目が伊藤選手

第55回技能五輪全国大会の感想、次回へ向けて

伊藤 彰宏選手

大会の課題が発表されてから、機械の寸法が1か所変わること、3か所以上も変わる事になると聞いて、まず、寸法を覚えられるのかと心配になりました。しかし、45°の寸法を計算して出すことで、覚えるよりも確実に寸法のミスをする可能性を減らすことができたので、寸法に対して十分な対策が出来、どの寸法が来ても対応することができました。

仕上げでは、練習で作った課題が今までの最高点だったので、今持つ自分の全てを出しきれたとは思っていません。しかし、大会の場で自分の平均点以上のものが作れた事に、自分では満足できるものができたと思っています。

今回の大会で、銅賞という結果を残せたことは、来年の大会へ向けての大きなモチベーションとなり、次は必ず金賞を獲得するという決意を持つと共に、これからまた一歩ずつ前へ進んでいこうと思います。今後ともよろしくお願いします。

境 武雅選手

大会が近づいてからは、ミスをしないように、確認をしっかりとるように心がけて課題に取り組みました。完成時間が安定し、ミスも無く精度を出せるようになり、自信を持って大会に臨むことができました。

大会の直前に点数を上げることができ、賞を狙える所まで上がって来たと感じていましたが、結果として敢闘賞にギリギリ届かず、入賞を逃してしまいました。銅賞を獲得した伊藤君と一緒にメダルを持って帰ることができなかったことを考えると、とても悔しい気持ちでいっぱいです。

この結果を常に頭に置いて、まずは、伊藤君に勝てるように練習をし、ギリギリで賞を獲得のではなく、安定した実力で金賞を獲得するように頑張っていきたいと思います。来年の大会は必ず良い成績が残せるようにしますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

森 亮太選手

機械競技前はとても緊張していましたが、始まると次第に緊張がほぐれてきて、いつも通りの声に出しながらの加工も、いつもの課題のようにできており、終わってみれば競技時間内に終了し、ミスもなく、とても良いものが完成しました。

仕上げの練習では、1年目の目標であった「時間内失格なし」も概ね達成できていて、あとは普段通りのことが本番でできれば大丈夫というところまでできていました。

今回初めての技能五輪全国大会というなかで、最大の目標であった時間内完成をすることができ、本当に良かったです。来年の技能五輪への課題もたくさん見つけれ、その課題を克服するため、練習を更に重ねていきたいと思っています。そして、来年の大会では、3人揃って表彰台に笑って立てるようにしたいです。たくさんの応援ありがとうございました。来年も更に努力を重ねて行きたいと思っています。